

市民と議会をつなぐ

市議会だより

SHINJO SHIGIKAI DAYORI

6月定例会

No.169

2025.7.28

新庄開府

400年
1625-2025

歴史と伝統を
未来につなぐ

今年は
新庄まつり270年祭

萩野・仁田山鹿子踊は新庄市の萩野地区と仁田山地区に伝わる1人立ちの鹿子踊で、同一系統の踊りとされている。7人1組となり、それぞれがカモシカの頭をいただき、長幕を垂れ、地方の摺るササラの伴奏に合わせて、胸に抱いた小太鼓を叩きながら激しく踊る。頭・ササラ・踊りともに優れて特色的との理由で、昭和51年（1976年）に国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択。

新体制スタート P2～3

12人が一般質問 P6～12



←新庄市議会
HPはコチラ

副議長、委員会構成を紹介します！

新体制の紹介

審議された議案

請願の結果

常任委員会報告

受賞者の紹介

一般質問

チョイス



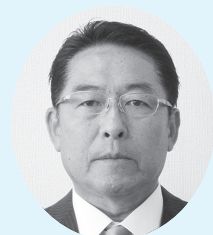
議長 佐藤 卓也

令和7年5月臨時会において、議員の御推挙により再び議長に就任いたしました。責務の重大さを自覚し、円滑な議会運営に努め、一所懸命誠意をもって取り組んでまいります。これから更に議会改革を推進するため議会報告会等の新たな手法を模索していきます。また、開かれた議会として新たにSNS等の活用を検討していきたいと思えます。市民生活の向上に努めてまいりますので皆様のご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。



副議長 山科 春美

この度の臨時議会におきまして、副議長にご選任いただきました。議員の皆様のご協力の下、議長の補佐役として公平公正で円滑な議会運営を行うと共に、議会の更なる活性化に努めてまいりたいと思えます。市民の皆さまの声、または議会の情報が市民の皆さまにわかりやすい形で届くように、『市民とともに歩む議会』、『開かれた議会』の推進に力を入れてまいりたいと思えます。今後も、ご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。



総務文教常任委員長

山科 正仁

このたび再び総務文教常任委員長を拝命いたしました。総務・財政・教育など市政の根幹を担う重要分野に引き続き真摯に向き合い、これまでの経験を活かしつつ、市民目線を忘れず丁寧かつ建設的な委員会運営に努めてまいります。



産業厚生常任委員長

辺見 孝太

この度、産業厚生常任委員長に選任して頂き、身の引き締まる思いです。当委員会では産業の振興や農業の活性化をはじめ、福祉や子育て支援などの市民生活に関わる分野を幅広く担当します。市民の皆さまの暮らしの安心と地域産業の発展のため十分な議論を重ねるとともに、委員一丸となって地域課題に対する調査研究を継続して行い、実行性のある政策提言につなげられるよう努めてまいります。

新体制がスタートしました！ 議長、

総務文教常任委員会



議会運営委員会



議会報編集委員会



産業厚生常任委員会



議会改革推進委員会



監査委員（議会選出）

小野 周一

最上広域市町村圏 事務組合議会議員

議長 佐藤 卓也
議員 鈴木 啓太
坂本健太郎
小嶋 富弥

※◎は委員長 ○は副委員長

5月臨時会

5月14日、議長、副議長が選任され、議会構成が決定しました。また、報告3件を承認、人事案件1件に同意、議案1件、令和7年度補正予算1件を原案のとおり可決し閉会しました。

審議された議案

種類	番 号	件 名	結果
【市長提出】			
報告	第1号	新庄市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
	第2号	新庄市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	
	第3号	新庄市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	
議案	第25号	令和7年度新庄市一般会計補正予算（第1号）	可決
	第26号	新庄市固定資産評価員の選任について	同意
	第27号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	可決

6月定例会

初日、6月6日、報告4件を受け、人事案件1件に同意、議案3件を原案のとおり可決しました。
最終日、6月18日、請願1件を採択、議案3件、令和7年度補正予算4件を原案のとおり可決しました。
また、追加提案された議案3件、議会案1件を原案のとおり可決しました。

審議された議案等

種類	番 号	件 名	結果
【市長提出】			
報告	第 4 号	一般財団法人新庄市スポーツ協会の経営状況の報告について	—
	第 5 号	令和 6 年度新庄市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	
	第 6 号	令和 6 年度新庄市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	
	第 7 号	令和 6 年度新庄市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	
議案	第28号	令和 7 年度新庄市一般会計補正予算（第 2 号）	可決
	第29号	令和 7 年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	
	第30号	令和 7 年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	
	第31号	令和 7 年度新庄市下水道事業会計補正予算（第 1 号）	
	第32号	新庄市表彰について	同意
	第33号	和解及び損害賠償の額の決定について	可決
	第34号	新庄市民球場投光器ＬＥＤ化工事請負契約の締結について	
	第35号	新庄エコロジーガーデン原蚕の杜駐車場整備工事請負契約の締結について	
	第36号	権利の放棄について	
	第37号	新庄市エコロジーガーデン設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	
	第38号	新庄市技術上の監督業務を行う者を置く水道の布設工事等を定める条例の一部を改正する条例について	
	第39号	財産の取得について	
	第40号	新庄市議会議員及び新庄市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例について	
	第41号	新庄市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	
【委員会提出】			
議会案	第 4 号	国による学校給食の無償化を求める意見書の提出について	可決

チョイス P13

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
国による学校給食の無償化を求める意見書の提出について	学校給食の早期無償化をめざす山形県民の会 代表委員 高木 紘一	伊藤 健一 辺見 孝太	採択

常任委員会の報告

総務文教常任委員会の主な質疑

●請願第2号

国による学校給食の無償化を求める意見書の提出について

Q 市内の学校で、給食代金の未納が出ている学校はどのくらいあるか。

A 未納のある学校は今のところない。

Q 子どもたちに給食に関するアンケートを行っているか。

A リクエストメニューということで、どんなメニューがいいかアンケートを実施している。

Q 請願内容に「国による恒久的な無償化が行われるまで」とあるが、それに先駆けて市で何か始めることはないということでしょうか。

A 国の動向を情報収集しながら、早期に対応できるように考えている。

Q トップの公約を政策に反映させるのが原課だと思っがどうか。新庄市独自で実施してほしい。

A 今後、国の動向も含めて無償化に向けた努力を続けていく。

産業厚生常任委員会の主な質疑

●議案第36号

権利の放棄について

Q 権利を放棄するだけでなく、その他金銭的な貢献やどのような事業に補助金を出したかなど、整理しておくべきではないか。

A しっかりと整理し残していきたいと考えている。

●議案第37号

新庄市エコロジガーデン設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

Q 最初は使用料の範囲内で利用料が設定されるが、その後付加価値をつけるため料金上がるということではないのか。

A 条例上、使用料の範囲内と定めているため、使

用料を超える料金にはならない。また、利用料を変更する際、市が許可を出して変更するため、突然変わることはないと考えている。

Q 入園の制限等について、条例に退園と明記しなくてよいのか。それとも、規則で退園と明記するのか。

A 条例で退園という記載がなくても、実際の運用上問題ないと考えている。また、規則の改正内容はまだ決定していないが、退園の記載は考えていない。

●議案第38号

新庄市技術上の監督業務を行う者を置く水道の布設工事等を定める条例の一部を改正する条例について

Q 衛生工学について、緩和措置に伴う支障、メリットはあるのか。

A 水質確保の観点から衛生工学の習得が必要とされてきたが、技術者不足による緩和措置と捉えている。技術管理者の資格に該当する職員は現在1名だが、緩和措置後は全体で5名に増えることがメリットである。

人事案件

5月14日（臨時会）において同意された人事案件をご紹介します。

◎固定資産評価員 小関 紀夫氏

6月6日（定例会初日）において同意された人事案件をご紹介します。

◎新庄市表彰 下山 准一氏
佐藤 廣氏

議席の一部変更

6月6日に議席の一部変更がありました。

議員名 今田 浩徳
変更前 変更後
3番→12番

受賞者の紹介

6月定例会初日、全国市議会議長会の表彰状の伝達が行われました。市政の発展及び振興に貢献したことにより、新田道尋議員が議員30年以上在職による表彰、今田浩徳議員及び山科正仁議員が議員10年以上在職による表彰を受けました。



（左から）山科正仁議員、今田浩徳議員、新田道尋議員

今後も
市政の発展に
ご尽力ください。

一般質問

一般質問は、6月9日、10日、11日の3日間、12名の議員が行いました。
質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。
※掲載している文章は、抜粋し、要約したものです。詳しくは各議員のQRコードから動画をご覧ください。

6月定例会一般質問の質問者と質問事項

渡部 正七

1. 農業の持続的な発展について **P6**
2. 「地域コミュニティ」への支援について
3. 法定外公共物の適正管理について **P6**
4. 市民誰でもがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進について

坂本健太郎

1. 大雨災害時における消防団の行動指針と安全体制について **P7**
2. 職員のキャリア支援、離職防止について
3. コミュニティスクールの実績と学校運営について

鈴木 啓太

1. ガバメントクラウドファンディングについて
2. 公共施設について **P7**
3. イベント補助制度の導入について **P7**

辺見 孝太

1. キャッシュレス決済の推進について
2. 新庄まつりについて
3. 空き家対策について **P8**

山科 春美

1. 新庁舎の建設計画について **P8**
2. 一人暮らしの高齢者世帯等の地域の見守りにについて **P8**

伊藤 健一

1. 新設された防災危機管理課の役割について
2. 豪雨災害の影響による東山地区から末広町3区までの復旧状況について **P9**
3. 鳥獣対策のうち特に熊に対する対応について **P9**

ねえ、かむてんおしえて！

一般質問って何？



一般質問とは、議員が市政全般のことについて、執行部に質問することじゃ。



かむてん 新庄市 × 富樫義博

亀井 博人

1. 住まい宅地について **P9**
2. 食生活改善推進員について **P9**
3. 定員管理について
4. ふるさと納税について

小嶋 富弥

1. 持続可能な市政運営について **P10**
2. 安心安全な市民生活の維持について
3. 高齢者福祉について

田中 功

1. 開府400年記念事業取り組みについて **P10**
2. 公園トイレ（公衆トイレ含む）の改修計画と管理状況等について **P10**

佐藤 悦子

1. 移動手段の確保のために、予約型乗り合いタクシーの導入を求める **P11**
2. 不登校の解決は子どもの心の傷を直視してこそ **P11**
3. 物価高騰対策として

高橋 富美子

1. AEDの啓発推進と環境整備について **P11**
2. 熱中症対策について
3. 健康寿命延伸のための肺炎対策について **P11**
4. 新庄子ども読書活動推進計画について

鈴木 法学

1. 「空き店舗補助金」について **P12**
2. 「婚活支援事業」について **P12**
3. 「市民提案事業」について

質問動画はこちらから



持続可能な農業の実現に向けて



わたなべ しょうしち
渡部 正七 議員

◎スマート農業推進において、機械等の導入、補助金活用等による効果についての認識を伺う。また、年齢や経営規模によってスマート農業の導入が難しい生産者もいるが、スマート農業を推進する立場からどのような対応を考えているのか見解を伺う。

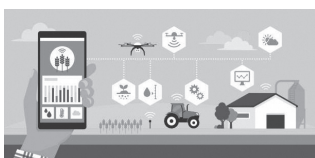
市長 担い手の高齢化や後継者不足など農業者が減少する中で、スマート農業の推進は、今後の持続可能な農業経営の確立に向けて重要であると認識しています。市では、今年2月に東北農林専門職大学と新庄市、株式会社社南東北クボタの3者により連携協力に関する協定を締結し、スマート農業の研究開発と普及拡大に向け、自動操舵トラクターの実演会の開催など様々な事業に取り組んでいきます。また、今後は補助事業を活用し、農業用ドローンの導入支援や水田の自動抑草ロボットのの実証実験に取り組むこととしています。

年齢や経営規模によってスマート農業の導入が難しい生産者への対応については、機械の共同利用や集落営農組織の育成による作業の効率化のほか、収益性の向上に向けた園芸振興作物の生産の支援など、持続可能な農業経営の確立に向けた取組みを進めています。

◎法定外公共物及び水路等は地域に密着した形で公共の用に供されているが、現状管理の実態と今後の管理について考えられる方策を伺う。

市長 道路側溝や雪対策関連の導水路、流雪溝のほか、用途地域内の都市下水路及び雨水排水路などについては市が維持管理を実施しています。それ以外の道や水路については、利用者や地域住民の方から日常的な草刈り、清掃、修繕などを行っていただいています。

地域コミュニティのマンパワー不足が取り沙汰されているのが現状です。法定外公共物の維持管理に関する具体的な支援制度は現在ありませんが、今後の課題と認識しているため、地域住民の皆様とともに今後の管理に向けて検討していきます。



スマート農業の推進



住民の命を守る消防団の命を守る

◎昨年に続き、消防団員の命を守る行動体制の整備を取り上げる。災害が激甚化する中、今年の降雨期を前に、対応状況と実効性について問う。

大雨災害時の「行動マニュアル」や「出動判断基準」の整備状況は。

市長 昨年の7月豪雨災害において、消防団員が出動する中で二次災害の懸念があるとの報告を受けています。このような事態を重く受け止め、現在、消防団長をはじめとする分団長以上で構成する会議において、他自治体の事例も参考にしながら、行動マニュアルや出動判断基準の整備について、どのような形が望ましいのか検討を進めていきたいと考えています。

当面の対応としては、消防団と防災危機管理課において、消防団員が二次災害に巻き込まれないよう、水害時の対応のあり方について協議を重ねながら、留意点の整理を行い安全確保に努めます。

◎大雨に対応した具体的な訓練内容の強化、研修等、団員の育成について市の考えは。

市長 大雨に対応した訓練内容の強化、研修等、団員の育成については、今年10月19日の総合防災訓練において、浸水害を想定した実践的な訓練を実施し、消防団をはじめ、地元自主防災組織や関係機関とともに、排水ポンプなどの水防関連機材の操作訓練を行う予定です。

今後も、実際の災害現場を想定した訓練や、団員の技能向上を図るための研修等を実施し、消防団の育成と現場対応力のさらなる強化に取り組めます。

今後とも、地域防災の中核を担う消防団員の安全を確保するとともに、その活動が円滑かつ的確に行われるよう、装備の充実とあわせて支援体制の強化に努めます。引き続き、消防団の皆さまと十分に連携しながら、安全かつ実効性のある体制整備を進めていきます。



さかもと けんたろう
坂本 健太郎 議員



大雨時の消防団の活動



公共施設の未来について

◎少子化に伴い、将来的に統廃合の必要性が高まると想定される学校教育施設における、市長の構想や方向性などありましたらお聞かせください。

市長 学校施設の整備方針は、平成30年3月に策定した「新庄市立学校施設整備計画」において示されていますが、計画策定から7年が経過した現在、児童生徒数の減少が想定よりも急激に進んでいる状況となっています。

来年度、「新庄市立学校施設整備計画」の見直しを予定しているため、市全体の施設整備のあり方を見直す中で、将来的な学校教育施設の整備の方向性についても検討していきます。

◎市民の「イベントをしたい」という思いが可視化された開府400年記念の市民提案事業を踏まえ、市民活動を後押しするような常設の制度にしてはいかがか。

市長 開府400年記念市民提案事業については、多くの市民団体



すずき けいた
鈴木 啓太 議員

から提案事業にご応募いただき、記念すべき年を市民の皆さまと共に盛り上げていくことができるものと感じています。

現在、本市では様々な市民団体が活動しており、それらの活動を通じて地域の活性化や交流人口の拡大に寄与していただいています。今後のまちづくりを進めていく

上で、市民や市民団体とのつながりを強化していくことや、協働体制を拡大していくことの必要性はこれまで以上に高まることから、市民団体の活動を支援していく体制が必要であると認識しています。

イベント補助制度の導入にあたっては、市民団体の活動が様々な分野に及ぶことから、事業の目的に応じた支援の仕組みづくりや財源の確保など、整理しなければならぬ課題も多く、今回の市民提案事業の効果なども検証しながら今後の取組みについて研究していきます。



イベント補助金の導入を

質問動画は
こちらから

「実家じまい」で空き家予防を！

◎実家を整理・処分する「実家じまい」セミナーの開催支援や情報提供によるサポートを通じて、空き家の活用や解体を促す仕組みづくりが出来ないか伺う。

市長 将来空き家とならないように自宅などの整理を行うことは、いわゆる「終活」につながる対策の一つであると考えています。市では、宅建協会や司法書士会などと協力し、空き家相談会を開催していますが、終活の相談も寄せられており、相続や登記の方法、空き家の除却支援、空き家バンクの制度について紹介してきました。

また、今年度から、山形県空き家対策エリアマネージャーの協力のもと、最上郡が一体となったポータルサイトを構築し、空き家の活用を促進していくこととしており、全国版のサイトとも連携させ、移住・定住等にも寄与する仕組みを考えています。

今後も、空き家の状況把握を行い、利活用や除却支援等の取り組みを進めるとともに、空き家の発生予防策も含め、空き家が減少する仕組みづくりに努めます。



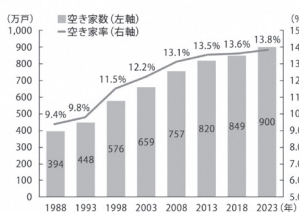
へんみ こうた 議員
辺見孝太

◎空き家になってからはじめて実家の将来を考えるのではなく「家をどうするか」という意識を市民が早期に持つことで売却や賃貸活用を促し、空き家の発生予防につなげられないか。

市長 終活を行うことにより、今後、下の世代へどのように財産を引き継ぐのか、自宅をどのようにしていくのかを早い段階から考えていくことは最近の流れではないかと感じています。空き家の無料相談を行っている中でも、ご本人やお子さんからの終活の相談が増えており、関心が高くなっていると感じています。

空き家対策については、発生予防をはじめ、適正な管理、利活用を進める流通促進、管理不全空き家の除却など様々ありますが、これら一つ一つで完結するものではなく、それぞれを連動させていくことが必要であるため、粘り強く取り組まなければならないと考えています。

図表1 空き家数・空き家率の推移(全国)



出所:総務省「令和5年住宅・土地統計調査」を基にニッセイ基礎研究所作成
全国的に空き家は増加傾向に

新庁舎建設の方向性について

質問動画は
こちらから

◎市役所新庁舎の建設予定が10年後の令和17年度となっているますがこれからどういったスケジュールで進めていくのか現時点でのお考えをお伺いします。また、近年の人口減少問題や、他の施設の老朽化も鑑み、他の施設との複合化などについてののお考えもお聞きます。

市長 令和17年度を新庁舎開所の目標年次としていることから、



建築後70年。
令和17年、建築後80年で更新予定の市役所

この実現に向けては、早急に取り組んでいく必要があると考えています。現在、新庁舎整備の方向性などについて検討を進めているところであるため、今後、建設候補地の選定や新庁舎の構想などを含めて検討を進めていきます。

また、公共施設の老朽化対策や多機能化による市民の利便性の向上など、人口減少が進展する中で、他の施設の機能を新庁舎に複合化することは、大変効果があると考えています。今後、現状分析や住民ニーズを踏まえながら、統合に必要な施設の機能について検討していきます。

◎一人暮らしでも住み慣れた地域で高齢者が元気に暮らしていくために、相談窓口を一本化するなど分かりやすいシステム構築についてのお考えをお伺います。

市長 現在、新庄市地域包括支援センターを中心とした相談窓口の一本化を進めています。今後も、地域包括支援センターの機能等の周知を進め、地域と地域包括支援センターが連携して相談や支援を円滑に受けられる環境を整備していきます。



やましな はるみ
山科春美 議員

新体制の紹介

審議された議案

請願の結果

常任委員会報告

受賞者の紹介

一般質問

チョイス



東山～末広町の復旧状況について

◎氾濫の大きな要因となった北沢川堰堤を起点とする北沢川河川復旧工事の進捗状況、末広町3区の法定外道路（同人社向かいから消防署に抜ける道路）の補修について伺います。

市長 北沢川河川災害復旧工事については、これまで2回の工事発注公告を行いました。2回とも入札不調となっています。市は早期発注を行いました。すでに国や県、他市町村の公共工事を複数受注しており、従事する技術者や作業員の確保が困難であることから、入札の辞退に至っている状況です。

今後は、発注時期及び工期の再設定や入札方法について再検討し、早期契約・着工を目指したいと考えています。また、復旧工事を行っている地元住民の方々への説明も併せて行っていきます。

◎最近熊が住宅街まで出没するケースが増えていますが、住居集合地域等における麻酔銃の取扱い

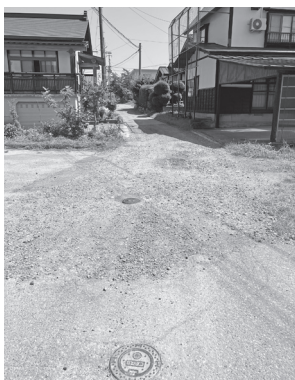
は今後どのようなことになるか伺います。
市長 近年、県内各地の市街地でクマの出没案件が増加しています。本市においても本年2月にツキノワグマが市街地に現れ、県や警察、消防団、猟友会にご協力いただき、人的被害に至ることなく捕獲できました。市街地でのクマの出没案件は、安全・安心な市民生活に大きな影響を与える重要な課題であると認識しています。

麻酔銃の取扱いについては、今年の秋に予定されている鳥獣保護法の改正に伴い、市街地に出没したクマなどの捕獲は自治体の判断により猟銃での捕獲が可能となります。また、住宅集合地域においては麻酔銃を使用せざるを得ない状況は変わらないと考えています。

今後の対応として、各総合支庁の管轄内に麻酔銃の使用可能者を1名以上確保するよう県に要望しているところであり、緊急時に即時対応できる体制の構築も重要であると考えていますので、引き続き関係機関との連携強化に努めます。



いとう けんいち 議員
伊藤 健一



未舗装の法定外道路（末広町）



すまい宅地、食生活改善

◎昨年の新築件数、その内中学校区別新築数、転入による新築数について。また、人口減少や児童生徒数の減少対策から、中学校区ごとの宅地政策について伺います。

市長 昨年新築された住宅は46件となっています。中学校区別では、新庄中学校区17件、日新中学校区15件、明倫学園学区9件、萩野学園学区5件となっており、転入による新築件数は6件です。

令和7年3月に策定した立地適正化計画において、居住誘導区域と都市機能誘導区域を定め、人口減少や少子高齢化が進行する中でも、安心して住み続けることができるコンパクトで魅力あるまちづくりを目指しています。これにより、市民が生活しやすいような都市機能を充実する区域が形成されることで、未利用地の宅地開発等につながるものと考えています。

◎「食生活改善推進員」の活動について伺います。推進員の活動をさらに市内に広げていく取り組みや、「減塩・食育」活動について、どう効果的に推進していきますか。



かめい ひろと 議員
亀井 博人

市長 新庄市食生活改善推進協議会は今年度9名の新規会員を迎え、現在45名で活動しています。市民の健康づくりのためのボランティアとして、料理教室や食育に関する活動など、食生活の大切さを普及していただいています。

活動を市内に広げていく取組みについては、推進員の地域普及活動の1つである「地域食生活・健康情報ステーション事業」の中で、健康な食事に関するミニポスターや持ち帰り用レシピを公共施設・スーパーに掲示しています。今年度は掲示回数を増やし、市ホームページにもレシピ集を掲載するなど、活動の推進に努めています。

また、減塩・食育活動を効果的に推進していくためには小さい頃からの食習慣が重要であるため、減塩・食育を中心とした料理教室を、市内児童生徒も対象とした幅広い年齢層に向けて複数回開催しています。



郷土料理教室（笹巻づくり）

質問動画は
こちらから

もっと、新庄の発信力を高める施策を

市長 今村先生からは、先日の記念講演会においても、未来を担う子どもたちへ「100年後の新庄市の未来を見据え、今後も本市を盛り上げていくために協力していきたい」という思いを伝えていただき、大変感謝しています。

記念館については、先生への感謝の思いを形にする手法の一つとして認識しています。現在、本市では記念館と同様に、市民や今村先生のファンの方々が作品と触れ合うことができ、あわせて、本市

◎当市の開府400年記念事業の総合アドバイザーである今村翔吾氏の5月25日の講演と、羽州ぼろ鳶組ダンス披露に素晴らしい感動と感激をもらいました。ダンスプロジェクトはYOSAKOIソーラン祭りで準ジュニア大賞を受賞しました。「次の100年も新庄を残そう」と語る今村先生の熱い思いを形にするため、今村翔吾記念文庫堂の設立をはいかがでしょうか。



おしまとみや 小嶋 富 弥 議員

市長 具体的に、今後ゆめりあ以外にどういった形で展示させていただくかということは決まっていない状況です。

先日の講演会において、先生の思いは大変感じたところであり、その思いに応えて様々取り組んでいく必要があると考えています。

たび丸号について、よりよく展示できるように見直したいと思えます。また、観光大使である今村先生のお力もお借りしながら、いろいろな観光振興策を考えて実行していきたいと考えています。



エコロジーガーデンに
今村翔吾記念文庫堂を

◎今村先生の「たび丸号」は現在ゆめりあに設置されていますが、たび丸号に対する市の考えを伺います。

市長 具体的に、今後ゆめりあ以外にどういった形で展示させていただくかということは決まっていない状況です。

先日の講演会において、先生の思いは大変感じたところであり、その思いに応えて様々取り組んでいく必要があると考えています。

たび丸号について、よりよく展示できるように見直したいと思えます。また、観光大使である今村先生のお力もお借りしながら、いろいろな観光振興策を考えて実行していきたいと考えています。



たなか いさお 田中 功 議員

開府400年祭記念事業の取組について

質問動画は
こちらから

記念事業【ダンスチーム羽州ぼろ鳶組】

◎開府400年記念事業で、市民提案事業を地元企業の協力で実施しておりますが、申し込み締め切り日を延長して募集を行った経緯と状況について伺います。

市長 開府400年記念事業の一つである市民提案事業は、当初、申込締切を3月24日としていましたが、新庄開府400年記念事業実行委員会の委員の皆様から募集期間の延長についてご意見をいただきました。より多くの市民の皆様が参加できるようにとすることを期しています。

現在にで参加いただくためにも、当初の予定より1か月ほど募集期間を延長し、申込締切を4月25日としました。その結果、多くの市民の皆様に関心を持っていただき、45件の応募がありました。

現在は応募いただいた提案事業の審査が終わり、採択された事業に関しては、今後それぞれの団体の皆様から事業を実施していただき、市としても採択された事業の周知・広報に努めながら、市民総参加での盛り上がりとなることを期待しています。

◎最上公園や陣峰市民の森入り口駐車場等の公衆トイレの改修計画と管理状況について伺います。

市長 最上公園のトイレについては、新庄まつりなどのイベント時には管理、清掃を強化して行うよう心がけています。

公園の管理については周辺の町内の方々から行っていたいているところも多くありますが、さらにご負担をおかけすることだけではなく、市でも管理を強化する必要があると考えています。

また、陣峰市民の森の整備計画は今のところありませんが、施設の汚損箇所は早急に対応したいと考えています。整備に関しては今後の検討課題であると認識しています。



高齢者に移動手段を確保して

◎車もない、家族にも頼れず、歩行も不自由な高齢者にタクシーを補助すべきでないか。また予約型乗合タクシーも最上町などで実施している。本市でできない理由はないのではないかと。市長 平成16年まで、80歳以上の高齢者の方を対象として通院用のタクシー利用券を交付していましたが、事業効果など検証の結果、現在は制度を廃止しています。また、市では令和4年度にデマンド型乗合タクシーの実証運行事業を実施しました。

令和5年度65才以上 受給資格期間25年以上有する者の年金額

	国民年金月額	厚生年金月額	備考
男	5万9965円	16万6606円	
女	5万5777円	10万7200円	
平均	5万8954円	12万7133円	(山形県)

たが、タクシー事業者において運転手不足による車両の確保が困難だったこと、ニーズ調査に基づいた運行計画でしたが利用者がほとんどいなくなったことなどから、実証事業を終了しています。

◎不登校の原因は、こどものせいでも親のせいでもない。教育における過度な競争と、国連が勧告。ケアの体制を手厚くするとともに、学びの多様な学校の設置を進めるべきではないか。

教育長 学校では、スクールカウンセラー、子どもふれあいサポーターを配置し、子どもに普段と変わった様子がないか表情や言動を細やかに観察し、声掛けをしたり、必要に応じて面談を行ったりしています。場合によっては、医療機関等の意見を取り入れながら、子どもの状況に合わせた個別の対応をとっています。

また、不登校児童生徒の学習を保障する場として、教育委員会に適応指導教室を設置しています。学校でも、別室で指導することを通して学びの保障を行っています。学びの多様な学校については、ニーズがどのくらいあるのか、他の市町村、とりわけ近隣町村の動向を注視しながら、今後研究していきます。

質問動画は
こちらから



AEDの環境整備について



AED設置

◎傷病者が女性の場合、三角巾があれば胸部を覆ってAEDを使用できます。AEDの収納ケースに三角巾と使用方法を記したリーフレットを配備してはどうか。

市長 現在、本市の公共施設に設置しているAEDには三角巾は配備されていない状況です。医療用の三角巾には、患部の止血や固定など様々な用途があり、応急手当が必要な際に役立つものと認識しています。そのため、市が設置するAEDへの三角巾等の配備を進めたいと考えています。



たかはし ふみこ
高橋 富美子 議員

◎高齢化社会を迎えるにあたり、高齢者介護等による負担を増やさない為にも肺炎対策はより一層重要と考えます。健康寿命延伸の為の肺炎対策について本市の取り組みを伺う。

市長 肺炎とは、細菌やウイルスなどが体内に入り感染し、引き起こされる肺の炎症です。咳、たん、息切れ、発熱など風邪と似た症状が見られ、高齢者は肺炎と気付かずに発症していることもあり、重症化リスクも高くなります。肺炎を予防するためには、うがい手洗いなどの基本的な感染対策を行うことや、規則正しい生活、禁煙といった生活習慣を心がけることが推奨されます。

本市では、肺炎対策として、高齢者サロン等での出前講座において規則正しい生活習慣の普及を行うとともに、感染症流行時には感染予防についての周知を行っています。また、母子手帳を交付する際に家族の禁煙指導を行うほか、65歳以上の方を対象として、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種費用の助成を実施しています。

肺炎対策は、高齢者の健康保持のために重要な取り組みであるため、今後も、正しい知識の普及・啓発に努め、肺炎対策の推進に取り組めます。

質問動画は
こちらから

市の創業支援・婚活支援を活用しよう！



鈴木 ほうく 議員

◎空き店舗や空き家を利用した新たなビジネスの立ち上げを支援するための「商業地域への空き店舗等出店支援事業」について、今年度の変更内容とその理由を伺う。

市長 昨年度までは飲食サービス業のうち、酒類の提供を主とする店舗については補助事業の対象となる地域を一部地域に限定していました。しかし、近年は制限対象業種の限定区域外への出店希望や創業相談の件数が増加しており、空き店舗の利用促進や新規創業者の支援のため、今年度から制限を撤廃し、より活用しやすい補助事業としたところです。

◎2年前の一般質問「結婚を希望する方への結婚支援」についての答弁で、当市の方針を示しましたが、その後どのような取り組みをしたのか成果や手応えを含め伺う。

市長 結婚活動への意欲を高めるための情報発信については、結婚を希望する方向けのイベント情報や結婚支援事業について広報誌やホームページ、

ページ、市公式LINEを活用し、情報発信を行っています。

マッチングシステム「Ainaナビやまがた」の登録者増加に向けた取り組みについては、令和5・6年度にやまがたハッピーサポートセンターと最上8市町村が連携し、Ainaナビやまがたの登録相談会を実施しており、さらに、本市では令和6年度から、Ainaナビやまがたの登録料全額を助成しています。

県や最上広域婚活実行委員会と連携した取り組みについては、最上8市町村と県により組織する最上広域婚活実行委員会において、令和5・6年度はオンラインを活用した婚活イベントやセミナー、交流パーティーなどを計5回開催し、結婚を希望する方の出会いの場の提供やきっかけ作りを支援してきました。

以上の取り組みにより、実際にイベントで連絡先の交換につながった方もおり、結婚を希望する方の出会いの機会と交流が生まれていることを実感しています。今後も結婚を希望する方々の思いが実現できるよう、これらの取り組みを継続していきます。



商業地域空き店舗等出店支援事業費補助金

「対話する議会・議員」を目指して

この度、議会改革推進委員長に選任していただきました。

委員長として微力ではありますが、委員・議員の皆さまのご協力を得ながら市民に信頼され期待される議会、新庄市議会基本条例に基づく活性化を推進し、市民の皆さまとの対話や議員間討議を重ねながら、「対話する議会・議員」を目指していきたいと思います。

また、私自身、議員としての政策立案能力を強化するとともに、政策提言等改革項目をまとめ、その後の評価・検証による「政策サイクル」を確立していくなど、迅速かつ機能的な議会運営や多様化する市民ニーズに応えるための取り組み、住民福祉の向上に努めてまいります。

(委員長 渡部 正七)



議会改革推進委員会の様子

新体制の紹介

審議された議案

請願の結果

常任委員会報告

受賞者の紹介

一般質問

チョイス

議案第4号の意見書を、衆参両院議長、関係大臣に送付しました。

チョイス

議案第4号

国による学校給食の無償化を求める意見書

学校給食は児童生徒の食に関する望ましい食習慣を養い、心身の健全な発達に資するものである。また、これまで各市町村では特色ある給食を提供し、郷土愛の醸成や地場製品の消費拡大につなげる食育を展開するなど、学校教育の一環として重要な役割を果たしている。

近年の子育て支援や少子化対策、義務教育の無償化の観点から、小中学校の給食費を全額補助、または一部補助する市町村が増加しつつある。

しかしながら、多額の出費を強いる給食費の無償化は、厳しい地方財政をさらに圧迫するなどの懸念から、実施に踏み切れない市町村も少なくない。加えて、近年の様々な世界情勢や異常気象によって原材料費及び燃料費が高騰し、値上げが相次いでいる。そうした背景や財源の課題からこれまでに無償化を取りやめた市町村も出ている。

食育という教育を行うのに必要不可欠である学校給食の無償化については、本来、児童生徒の多さ、財政の豊かさ等により市町村が判断するのではなく、義務教育の段階においては、教科書と同様に無償化することが望まれる。子どもの学びと成長する権利を保障することは、国や私たち、社会全体の責任である。

こうした状況を鑑み、子どもたちの健やかな成長を保障する質の高い学校給食については、国の責任において財源確保を行い、全ての市町村が学校給食の無償化を実施できるようにすることが望まれる。

よって、本議会は、国及び政府に対し、以下の事項を強く要望する。

記

1. 学校給食法を改正し、国の責任において、全ての市町村で学校給食の無償化を実施できるように進めること。
2. 国による恒久的な給食の無償化が行われるまで、学校給食費の軽減策を実施する各市町村に対して、その財政支援の拡充を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

意見書とは

地方公共団体の公益に関する事件に関して、議会の意思を意見としてまとめた文書のこと。議会は可決された意見書を国会や関係行政庁に提出することができるんじや。



かむてん© 新庄市 × 富樫義博

法被議会を開催しました

今年は新庄開府400年、新庄まつり270周年を迎える記念の年となります。

この節目の年を市内外に広くお知らせし、市民の皆さまとともに祝うため、6月定例会の初日に、議員と執行部が法被を着用して議会を開催しました。

法被の着用は新庄の歴史と伝統を象徴するものであり、記念すべき年を対外的にアピールし、市民の皆さまへ周知を図るものです。



市民の声

地域で活躍する皆さまの声を紹介します。

伝統とは新しいことに 挑戦し続けること



深田 湖春さん、莉音ちゃん、裕介さん



あじさいの杜



スイーツかき氷

深田菓子舗は1890年に創業し、今年135年目を迎えます。5代目となる私は、大学を卒業後、都内の洋菓子店での修行を経てから新庄に戻り、いまは主に洋菓子を担当しています。3年前から新庄青年会議所に所属し、尊敬する先輩方のもと地域の子ども達を笑顔にするため、挑戦を続けています。

鹿児島から嫁いでくれた妻とは結婚5年目になり、今月第二子が誕生します。接客や商品開発にも携わってくれる妻は、新庄の暮らしにも徐々に慣れ、地元のバレーチームにも所属しています。家族や友人と離れ、遠い山形の地で私や家族の支えになってくれる妻には誰よりも感謝しています。

いま特に力を入れている商品は「あじさいの杜」です。あじさいの杜は新庄開府400年を記念し、ラズベリーなど地元の素材を活かして創作しました。幅広い層から手に取ってもらえるようなお土産を目指しております。また、この他にも当店夏の風物詩スイーツかき氷やシェイク、イラストケーキなど新たな挑戦をやめずに、伝統の味を守りつつも時代に合わせて進化し続けるお店でありたいと思います。（深田 裕介）

9月定例会の予定

8月28日(木) 請願締切

9月9日(火) 開会

10日(水) 一般質問

11日(木) 一般質問

12日(金) 一般質問

16日(火) 常任委員会

17日(水) 常任委員会

18日(木) 決算特別委員会

19日(金) 決算特別委員会

25日(木) 最終日

中継あり

中継あり

開会は10時です ◇請願は随時受け付けております。

議会の傍聴について

どなたでも傍聴できます。受付簿に住所・氏名を記入していただくほかは面倒な手続きはありません。団体の方は事前に議会事務局までご連絡ください。ぜひ、市役所3階議場に足を運んでください！

パソコン
のほか

スマートフォン・タブレットでも
市議会ネット中継が視聴できます！



市議会
インターネット
中継



新庄市議会 中継

検索



市議会の様子をインターネット中継しています。市役所の市民課フロア、市民プラザでも視聴できますので、ぜひご活用ください。

※約1週間後に、録画したものがインターネットで視聴できます。

あ
と
が
き



委員長 鈴木 法字
副委員長 鈴木 健一
委員 伊藤 博人
委員 鈴木 啓太
委員 鈴木 孝太
委員 鈴木 浩徳

議会報編集委員の紹介

(記・委員長 鈴木 法字)

新年度となり、議会の組織・委員会構成等も変わり、新しい体制でのスタートを切りました。私達、議会報編集委員会も新たな気持ちで「議会だより」の内容の充実のために協議を重ね、この169号を発行させていただきました。議会だよりは、市民の皆様が市政に参加するための重要な情報源です。議会だよりを読むことで、議会がどのような議論をしているのか、どのような決定をしているのかを知ることができます。また、市民の皆様が市政に対して意見を表明するためのきっかけにもなります。この議会だよりがますます「市民と議会をつなぐ」大切なツールとなりますよう、委員会のメンバー一丸となって頑張ります。ぜひ、毎号手に取ってご覧いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

発行／山形県新庄市議会

編集／議会報編集委員会

問い合わせ／新庄市議会事務局 〒996-8501 山形県新庄市沖の町10番37号

TEL 0233-22-2111 (内線302・303) 0233-23-5002 (直通)

FAX 0233-22-0989 E-mail gikai@city.shinjo.yamagata.jp



環境にやさしい植物油インキを使用しています